



会 長 阿部 佳文 副会長 善方 邦雄 クラブ会報 太田 恭寿  
 会長エレクト 藤井 利則 幹 事 菅野 守芳

### 会長あいさつ



会長 阿部 佳文

皆さんこんにちわ、初めて  
ご来賓の紹介をいたします。

2530地区県北第一分区

ガバナー補佐 佐藤宗弘 様

県北第一分区幹事 黒澤信之 様

県北第一分区幹事 佐藤卓立 様

です。後でガバナー補佐にスピーチをして頂く予定  
しておりますのでよろしくお願い致します。

今日は気温が低く肌寒い日になっておりますが、  
ここ数日の間は季節外れの初夏の気温で、桜

をはじめ多くの花が咲き誇っています。ニュースでも  
県内の桜の名所が紹介されており、二本松市の合  
戦場のしだれ桜も満開のようです。

私たち人間の世界ではロシアとウクライナの戦  
争・新型コロナの疫病蔓延もあり、食料、エネルギー、  
工業製品、などなどの物不足による物価が上昇し  
ています。さらに円安で126円は20年ぶりだと、新  
聞に出ていました、そのすべてが生活に直結して  
影響が出ています、私たちの春はまだ遠いよう  
すが一日も早く解決することを望んでおります。

以上挨拶とさせていただきます。



### ガバナー補佐クラブ訪問 「1年を振り返って」

県北第一分区ガバナー補佐

佐藤 宗弘

皆様、こんにちは。今期もあと3ヶ月  
となり、今回がガバナー補佐としての最終訪問となります。  
ガバナー補佐として至らぬ点等多々あったと思いますが、

ロータリーの好意と友情に免じてお許し賜りたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大の中、ガバナー補佐年度を何  
とか終えることができました。同じ荒波を一緒に越えたクラ  
ブ会長・幹事様をはじめとし地区会員の皆様方の温かいご支  
援とパストガバナー、諸先輩の皆様のご指導、そして地区チ  
ームの皆さん、地区スタッフの皆さん、事務局の皆さんのご協  
力でコロナ禍、何とかガバナー補佐を務める事ができました  
ことを心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。

※裏面につづく

### 本日のプログラム

### ガバナー補佐訪問

#### 4月のプログラム

第1307回例会：4月14日(木) / ガバナー補佐訪問

第1308回例会：4月21日(木) / 通常例会

4月28日(木) / 祝日の週のため  
特別休会

#### 幹事報告

#### 分区行事

◆規則・手続委員会セミナー

令和4年5月21日(土)10:00~12:00

◆新世代会議

令和4年5月28日(土)13:30~16:50

●国際ロータリークラブ会長  
シェカール・メータ(インド)

●国際ロータリー第2530地区ガバナー  
志賀 利彦 (いわき小名浜ロータリークラブ)

●県北第一分区ガバナー補佐  
佐藤 宗弘 (福島西ロータリークラブ)

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 一、真実かどうか
- 二、みんなに公平か
- 三、好意と友情を深めるか
- 四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30

承 認 1993.9.10

認証状伝達式 1993.11.8

地 区 番 号 2530

ク ラ ブ 番 号 29750

例 会 日 毎週木曜日(12:30~13:30)

例 会 場 二本松商工会議所

事 務 局 〒964-8577

福島県二本松市本町 1-60-1

二本松商工会議所

Tel0243-23-3211

Fax0243-23-6677

あつという間に過ぎ去った過去の思い出が、今私の頭の中を走馬灯の様に駆け巡っています。

いやは何となく、自分の手帳をめくって見ると、2021-22年度はロータリークラブの活動やロータリアンとしての活動が様変わりになっていくのが分かります。各クラブにおかれましても、例会運営や奉仕活動、親睦活動のあり方が変更を余儀なくされたり、発想の転換を図られたり、とにかくこれはやってみようという模索を図られた年回りでありました。各クラブの皆様には様々な制約があった中で、このようにガバナー補佐の役割を果たす上でのご協力をいただきましたことに、深く感謝を申し上げる次第です。

私の20年間のロータリアン歴において、ガバナー補佐を務めることで、自クラブ以外の6クラブの例会訪問が出来たのは貴重な経験でした。コロナ感染拡大に対応して各クラブが例会開催方法に尽力される中、訪問形態も多様化しました。例会の開催方法に応じて、通常の例会に出席する形・少人数で面談する形・オンラインで会合する形など多様に対応頂きました。コミュニケーションの取り方についてはそれぞれ良い特徴が発見され、多様な形態を工夫することで本来の目的が達成できることを改めて考えさせられる機会でした。

7月末から8月上旬にかけてのガバナー公式訪問では、各クラブを訪問し、多くの会員の皆様と旧交を温め、またクラブの問題等の話を聞くことが出来ました。各クラブとも多少の問題があるとはいえ、和やかに、またロータリーの目標に向かって進んでいるのが感じられました。各クラブとも大変な歓迎をいただき、また各クラブの会長さんをはじめとし、各役員の皆様にも大変お世話になりました。

コロナ禍にあって各クラブでも奉仕活動に大変苦慮した年だったと存じます。地区でも、主な地区行事については、一部を除いて、そのほとんどが中止あるいはWeb開催での実施となりました。コロナ前のように、皆さんと直接に顔を合わ

せて親睦を深めながら、次年度の計画を語り合うことができない。など、もどかしさは否めませんでした。

これらは、すべて、“新型コロナウイルスのせい”である。と言ってしまうと、簡単ですが、それでは、ロータリークラブは、コロナ禍の環境に適応できなくなります。コロナを停滞でなく、ロータリーにとって新しい世界を切り開くチャンスと、捉えて次年度以降も活動してほしいと思っております。

ロータリーの機会は「であい」から。機会の根幹は「であい」と捉えます。ロータリーメンバーと出会い、相互に高潔性・多様性・リーダーシップを学び、親睦を育み、個の奉仕に繋がることがクラブの未来構築と考えます。新型コロナウイルスの影響で、非常に厳しい環境下ではございますが、どんなに悔いても過去は変わらず、どれほど心配したところで未来もどうなるものではありません。今、現在に最善を尽くすこと。と松下幸之助は説いていました。今、最善を尽くすことは足元から先の環境を変えることが出来ます。今後も全世界が一丸となり、笑顔溢れるのであいを求めて鋭意努力して参りたいと思っております。

結びに、ガバナー補佐という貴重な経験をさせていただき、また素晴らしいロータリアンの皆様に出会えたことに心から感謝致します。「できないこと」を嘆くのではなく、皆で、自由に意見を交わし、知恵を出し合って工夫を重ねることで、「できること」を見出し、希望を抱いて進む。そうした姿勢を学んだ1年でした。

武者小路実篤の名言で「君は君 我は我也 されど仲良き」という言葉がございます。コロナ禍の収束はまだ見えませんが、だからこそ、個性豊かで多様な視点を持つロータリアン、ロータリーファミリーとの絆に恵まれた幸せをかみしめつつ、今後も、各クラブがさらに充実した活動に取り組みられ、発展されることを心から願っております。ご清聴有り難うございました。

ニコニコ BOX

にこにこ BOX 小委員長 根本 和志

善方邦雄会員、安部敏弘会員、齋藤敏夫会員、平塚与志一会員、渡辺正弘会員  
菅野守芳会員、阿部佳文会員、橋本哲弥会員、佐藤壮一郎会員、穴戸光英会員  
黒澤信之様、佐藤卓立様（福島西 RC）

\* 米山記念寄与者…佐藤壮一郎会員、善方邦雄会員

\* ロータリー財団…阿部佳文会員、渡辺正弘会員、菅野守芳会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会 小委員長 根本 和志

会員数	本日出席	出席率	メイクアップ	修正率
35名	18名	51%	11名	82%

ニコニコ BOX

目標額	550,000円
小計	16,000円
累計	301,000円